

2026 年 8 月 6 日

目白大学短期大学部が韓国・釜山観光高等学校との高大連携協定を締結

学校法人目白学園 目白大学短期大学部（東京都新宿区 /学長：小松 由美）は、韓国の釜山観光高等学校（韓国釜山広域市 /校長：ジョン ジョンブ）と高大連携協定を締結しました。7 月 21 日（火）には釜山観光高等学校を代表して白民学園 ミン ヨンギ理事長を新宿キャンパスに迎え、協定書交換式を執り行いました。また、この協定に基づく取り組みの第一弾として、釜山観光高等学校で日本語を学び、将来は日本での就職を希望する生徒 15 名を対象とした 2 週間の日本語研修プログラムを 7 月 21 日（火）から 7 月 31 日（金）まで実施しました。



▲白民学園 ミンヨンギ理事長（左）と目白大学短期大学部 小松由美学長（右）

本学にとって初の試みとなった今回のプログラムでしたが、製菓や観光ビジネスなど両校に共通する分野領域の教育リソース融合による大きな相乗効果を確認できました。参加生徒の日本における将来のキャリア形成においても、本学の今後の国際交流のあり方や方向性においても、将来に向け大変意義のある成果を収めることができました。



▲生徒が参加した製菓実習（和菓子づくり）

18 歳人口の減少による少子化という共通の社会問題に対し、日韓の国境を越えて広域的な学生育成モデルを構築し、共有することは、持続可能な高等教育としての確かな一歩となります。今後は協定に基づいてさらに、釜山観光高等学校生の日本での就職・進学支援体制の充実や、本学学生の海外研修機会の創出、教職員の相互派遣による教育交流の実現などを目指していきます。



▲研修プログラムの様子

夏期日本語研修プログラム「-日本で学び、日本で働く未来を考える-」開催概要

期間：2026 年 7 月 21 日（火）～7 月 31 日（金）

場所：目白大学短期大学部（新宿キャンパス）

対象：韓国・釜山観光高等学校 生徒 15 名

実施内容：日本語講座、観光接客実習、製菓実習、本学学生や目白研心高等学校生徒との交流、文化研修など

<取材依頼・本件に関するお問い合わせ先>

目白大学・目白大学短期大学部 大学企画室（広報担当）

〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1

TEL：03-5996-3121 E-mail：colgakumu-h@mejiro.ac.jp